

# 燃

# えるゴミのゆくえ

各集積

さしまクリーンセンター寺久は主に家庭から出されるゴミの処理を目的として平成20年に境町・五禮町・坂東市・古河市が共同で建設し、運営している施設です。

みなさんのご家庭から排出された燃えるゴミは、さしまクリーンセンター寺久で焼却し、電気・熱などのエネルギーに変えています。

今回は排出された燃えるゴミの処理の過程を「紹介」します。



## 1,000tのゴミを貯められます

搬入されるもえるゴミの1日当たりの量は約129t(令和元年度実績)で、最大約1,000tの燃えるゴミを貯めることができます。

## 巨大なクレーンでゴミを運ぶ



ゴミピット内に設置されたクレーンは、一度に5tのゴミをつかむことができます。クレーンによってかき混ぜられたゴミは、破砕機で細かくしたあと焼却炉につながるホッパへと運ばれます。

ゴミをかき混ぜることで燃焼効率がよくなるよ!



収集されたゴミはさしまクリーンセンター寺久に搬入されます。



クレーンを操作し、ゴミを運びます。



1系溶融炉出排口

焼却炉に投入されたゴミは500℃から600℃で蒸焼にしたあと、約1,300℃の高温で処理し、有害物質の発生を抑えます。焼却されたゴミは「焼却灰」と「スラグ」に分けられます。



「焼却灰」はトラックで運ばれ最終処分場で埋め立て処分されます。「スラグ」は再生業者に引き渡し、土木・建築資材として使われます。

さしまクリーンセンター寺久で使われる電気はこの発電機で作られ、余剰分は売電しています。



隣接する「さしま健康交流センター 遊楽里」の温水プール



蒸気のカマタービンを回して発電しているよ!



## 熱も再利用

ゴミを燃やした熱により蒸気と温水(80℃)が発生します。蒸気は発電に使われ、温水は「さしま健康交流センター 遊楽里」のお風呂や温水プールを温めるのに使われます。

## 燃えるゴミのリサイクル

焼却されたゴミは「焼却灰」と無害な「スラグ」という物質に変わります。「スラグ」はゴミを約1,300℃以上の高温でとかしてできる砂のようなもので、レンガやアスファルト等の土木・建設資材として有効利用がなされています。



スラグはアスファルトの原材料としても使用されています。